

## 総務生活委員会会議録

1 日 時 令和8年3月19日(木曜日)  
開会 午前11時51分  
閉会 午後 0時 2分

2 場 所 第1委員会室

3 出席又は欠席した委員の氏名

(出席)	委員長	小 西 利 一	副委員長	荒 木 将之介
	委員	川 緒 仁 宣	委員	竹 下 かなこ
	〃	三 上 周 治	〃	岡 崎 亨 一
	〃	高 谷 幸 男	〃	剣 持 堅 吾
(欠席)	なし			
(その他出席者)	なし			

4 職務のため出席した議会事務局職員の職氏名

議会事務局長	小 原 純	同主幹	関 藤 克 城
同庶務調査係主事	柴 田 美緒子		

5 説明のため出席した者の職氏名

副市長	中 島 邦 夫		
総合政策部長	入 野 史 也	政策調整課長	林 啓 二
総務部長	内 田 和 弘	職員課長	坂 田 圭
財政課長	岡 真 里		

6 付議事件及びその結果  
別紙のとおり

7 議事経過の概要  
別紙のとおり

8 その他必要な事項  
別紙のとおり

## 総務生活委員会審査報告書

令和8年3月19日

総社市議会議長 三宅 啓介 様

総務生活委員会  
委員長 小西 利一

本委員会に付託された案件について審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第110条の規定により報告する。

### 記

#### 付議事件及びその結果

議案番号	名 称	結 果
議案第42号	令和8年度総社市一般会計補正予算（第1号）	原案を可決すべきである
同意第8号	副市長の選任に関する同意を求めることについて	同意すべきである

開会 午前11時51分

○小西利一委員長 ただいまから総務生活委員会を開会いたします。

本日の出席は8名全員であります。

これより、さきの本会議において付託されました案件の審査を行います。

この際、お諮りいたします。

議案第42号と同意第8号は関連がありますので、同意第8号の審査を先に行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 御異議なしと認めます。

よって、同意第8号の審査を先に行うことといたします。

それでは、同意第8号 副市長の選任に関する同意を求めることについての審査に入ります。

では、当局の説明を求めます。

職員課長。

○坂田 圭職員課長 同意第8号 副市長の選任に関する同意を求めることにつきまして提案理由の御説明を申し上げます。

本市の副市長について、地方自治法第162条の規定によりまして市議会の御同意をいただき、令和8年5月15日から選任しようとするものでございます。

その方は、お配りしております議案に記載のとおり、住所が東京都杉並区高円寺南1-6-12クレアシオン201、お名前が吉田理子氏、生年月日が昭和57年8月30日の43歳の方でございます。経歴についてでございますが、吉田氏におかれましては、議案説明資料に記載のとおり、東京大学法学部に在学中、国家公務員採用I種試験に合格されまして、卒業後は平成17年4月に内閣府に入府、その後大臣官房政策評価広報課に勤務された後、内閣府参事官補佐や内閣官房内閣人事局参事官補佐、内閣府大臣官房総務課課長補佐、同課企画官、内閣府大臣官房公文書管理課企画官を歴任され、内閣府において第一線で御活躍されておられる方でございます。この内閣府等での数々の業績を基に、そのお力を遺憾なく発揮していただけることと思っておりますので、御同意を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○小西利一委員長 これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

川緒委員。

○川緒仁宣委員 川緒です。よろしく申し上げます。

副市長なんですが、今の中島副市長が総社市の人ということで、総社市のことをよく知っていらっしゃるお方で、よく御尽力されておりました。今回選任される方が内閣府の方ということで、その経歴は確かにすばらしいものではあると思っておりますが、やっぱり総社市のために副市長になっていた

だく方なので、去年の年末に副市長と市長とで話をして、副市長の辞められるという意志が固いということで、次の副市長を探すということになって、現在その候補に吉田様をとということになってますが、候補の方が今現在で総社市のことをどれだけ理解されているのか、ここがやっぱり今後の総社市の発展において大事だと思うんですが、短い期間で決まったことだとは思いますが、ちょっとそういうところをお聞かせいただけたらと思います。

○小西利一委員長 副市長。

○中島邦夫副市長 今の御質問に対して答弁させていただきます。

今は、私と難波政策監とで特別職をやらせていただいております。その前は、大塚副市長が総務省から来られて、私が政策監をやらせていただいております。このたびも、私が退職して吉田さんが副市長になりますと、そういったときの形になろうかなと思っております。

私も、市長に昨年末こういうことで退任させてほしいということをお願いして、市長のほうの内閣府に強い思い入れがありまして、そちらのほうへお声がけをさせていただいてこのようになったということで、私のほうからも難波政策監には、吉田さんは総社市の地理とかそういったものは分かっておりません、ですからそこら辺は政策監のほうで当面はやっていただきたいということもお話しさせていただいております。そして、もともと内閣府からは前川さんから入野部長まで、多くの方が総社市へ来ております。そうしたところから総社市のお話なんかは聞いているようでございますので、総社市に来るのは全く初めてかも分かりませんが、ある程度の内情はお聞きされとんじゃないかと思っております。

以上でございます。

○小西利一委員長 川鯨委員。

○川鯨仁宣委員 ありがとうございます。

僕も、やっぱり総社市に女性がわくわくするまちとなって元気になってほしいので、副市長、女性の方がなされると、よりありがたいかなとも思っておりますので、やっぱり政策監等がフォローするという形で、総社市のことを、よりよい形に導いていただきたいので、よろしく願います。

○小西利一委員長 副市長。

○中島邦夫副市長 ありがとうございます。

あと、そういった御意見等があったということも、私も政策監とお話をして伝えてまいりたいと思います。

以上でございます。

○小西利一委員長 他に質疑はありませんか。

高谷委員。

○高谷幸男委員 いろいろ御説明いただきましてありがとうございました。

5月15日に御就任だということですが、現在の中島副市長の任期をいつまでどういうふうにするのか、そのつなぎというのはどういうふうになるんでしょう。どうですか。

○小西利一委員長 総務部長。

○内田和弘総務部長 現在の中島副市長の任期でございますけど、3月31日までとなっております。御承認いただけたら吉田副市長でございますけど、5月15日から赴任していただくと。その間は、ちょっと副市長空白の期間がございますけど、我々職員と政策監とかで全面的にバックアップしながら対応してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○小西利一委員長 他に質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 これをもって、質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 これをもって、討論を終結いたします。

これより、本件を採決いたします。

本件は同意すべきであると決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 御異議なしと認めます。

よって、本件は同意すべきであると決定いたしました。

次に、議案第42号 令和8年度総社市一般会計補正予算(第1号)の審査に入ります。

では、当局の説明を求めます。

職員課長。

○坂田 圭職員課長 議案第42号 令和8年度総社市一般会計補正予算(第1号)につきまして御説明申し上げます。

今回の補正予算は、副市長の赴任に伴い必要となります経費を計上するものでございます。

まず、第1条におきまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ200万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ343億8,200万円とするものでございます。

それでは、便宜歳出から御説明申し上げますので、予算書の10ページ、11ページを御覧ください。

第2款総務費、第1項総務管理費、第1目一般管理費につきましては、先ほど申し上げました副市長の赴任に伴い必要となる経費を計上しておりまして、第8節旅費50万円の増額につきましては移転料等、第10節需用費2万8,000円の増額につきましては作業服等の購入経費、第11節役務費16万9,000円の増額につきましては宿舍借上げに係る仲介手数料等、第13節使用料及び賃借料98万円の増額は職員宿舍借上料でございます。

第13款予備費32万3,000円の増額は、予算調製でございます。

続きまして、歳入につきまして御説明いたしますので、8ページ、9ページへお戻りください。

第19款繰入金、第2項基金繰入金、第1目財政調整基金繰入金につきましては、財源調製でございます。

第21款諸収入、第5項雑入、第4目雑入のうち、説明欄1行目、職員宿舍本人負担分につきましては職員宿舍借上料に係る本人負担額で、説明欄2行目、その他雑入につきましては予算調製でございます。

以上でございます。

○小西利一委員長 これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 これをもって、質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 これをもって、討論を終結いたします。

これより、本件を採決いたします。

本件は可決すべきであると決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 御異議なしと認めます。

よって、本件は可決すべきであると決定いたしました。

この際、お諮りいたします。

委員会審査報告書の作成並びに委員長報告につきましては、委員長に御一任願えますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○小西利一委員長 御異議なしと認めます。

よって、一任と決定いたしました。

以上をもちまして、本委員会に付託されました案件の審査は全て終了いたしました。

これをもちまして、本委員会を閉会いたします。

閉会 午後0時2分